
当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

2021年度第2回研究会（通算第7回目）

日時：2021年6月7日（土）14:30-16:30

場所：オンライン

使用言語：日本語，英語

木本幸憲（AA研共同研究員，兵庫県立大学）Introduction

Nick Evans（AA研共同研究員，オーストラリア国立大学）“Dalabon”

Danielle Barth（AA研共同研究員，オーストラリア国立大学）“Matukar Panau”

Wayan Arka（AA研共同研究員，オーストラリア国立大学）“Balinese”

Alan Rumsey（オーストラリア国立大学）“Ku Waru”

Andrea Schalley（カールスタッド大学）“German”

全員 Discussion

今年度のテーマ補文構造（propositional framing）に関して主にオーストラリア側のメンバーが研究対象言語における現象を報告した。特にUTT（発話）文やTHNK（思考）の機能を

表す文において発話動詞・思考動詞を含む述部と共起する発話内容を表す命題を表す節の

統語的ステイタスを中心に議論を行った。